

神戸昇天教会月報

☎652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 341-4490
FAX (078) 341-4539
http://nssk-kobeshoten.org/ 口座振替 01110-2-10517

今年の標語

「来てみませんか」と誘える教会を目指そう。

努力目標

- 聖書と聖歌に親しむ。
- ホームページの活用。
- 信徒一人ひとり教会活動に参画しよう。
- 地域との交流促進。

聖語

キリストにおいて、あなたがたも共に建てられ、霊の働きによって神の住まいとなるのです。(エフェソ2:22)

愛の家に住むために

～隔ての壁を取り壊される主～

キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し……十字架によって敵意を滅ぼされました。(エフェソ書2:14, 16)

司祭 ミカエル 小南 晃

6月23日は「沖縄慰霊の日」でした。72年前に沖縄戦で犠牲となったすべての人々の死を悼み、平和を願う日として定められたものです。

日本聖公会では「沖縄慰霊の日」前後の週を「沖縄週間」と定め、毎年「沖縄の旅」という平和を願ってのプログラムが実施されています。今年はこの「沖縄の旅」に当教会から4名の姉妹が参加しました。その報告は月報次月号でお伝えしたいと思います。今から70年余り前の沖縄の悲劇に加え、その後も米軍統治下の時代があり、返還後も日本国内の70パーセントの米軍基地が沖縄に集中している現実を学んで沖縄県民の苦しみを知り、共に平和を願うものであったことと思います。

一方、今日本を取り巻く状況を見ると、北朝鮮においては核兵器やミサイル開発が進み、それに対抗して抑止力や集団的安全保障の必要性が叫ばれています。

そしてこうした恐怖は日本だけでなく、戦いの続く中東地域やISテロに脅える欧米など世界全体を覆っている影だと言えます。

隔ての壁という現実

「沖縄の旅」では広大な米軍基

地を囲むフェンスの回りを歩いたとのことですが、フェンスまた壁ということでは米国のトランプ大統領が主張しているフレーズが思い出されます。「トランプの壁」です。豊かな米国を目指して越境してくるメキシコからの不法入国を防ぐため、米国とメキシコの間にも長大な壁を築くという公約です。

こうした「壁」について、カトリック神父の著作家ヘンリー・ナウエンが著書「平和への道」で語っている寓話が思い出されます。

「豊かな国の人々が、貧しい人々が自分たちの富を奪いに来るのではと恐れた。そして自分たちの周りに壁を築いた。壁を築くと一時安心したが、壁の向こうが見えなくなって、相手が何を企んでいるか分からない、と恐れはさらに増大した」という内容です。

敵から身を護るために壁を築くという行為は、長い人類の歴史の中で繰り返されてきました。古くは中国の万里の長城、また冷戦時代のベルリンの壁、そして今現在もパレスチナにおいてユダヤ人とパレスチナ人の居住地の間に築かれ続けている「分離壁」、そして朝鮮半島の38度線など。

「恐れから壁を築く、壁が出来

た結果、相手が見えなくなって、さらに恐れが増す」。この悪循環は歴史の中で、また国や民族間でも、さらに言えば個人対個人でも起こっているものです。

ヘンリー・ナウエンは、それを私たちが「恐れの家」に住んでいると表現しています。どうすればそこから解放されるのでしょうか。

愛の家に住むということ

冒頭の聖句は、キリストはまさにこの敵意という壁を取り崩すために来られたと告げています。

それもキリストはそれを「御自分の肉において(エフェソ2:14)」、さらに「十字架によって敵意を滅ぼされた(エフェソ2:16)」とあります。即ち、ご自分を十字架の上に犠牲にすることによってこれを成し遂げられたということです。そこにはキリストの十字架を通して示された神の愛があります。

ヘンリー・ナウエンは私たちが恐れの家を脱して愛の家に住むには、この神の愛を堅く信じ、しっかり触れていることだと語っています。

そしてその為に大切なことは祈りであること。その祈りの内に「恐れるな」との主の呼びかけを聞き、その神の愛から私たちに引き離そうとする力に抵抗し続けること。さらにそのような愛に生きる他の者たちと共に歩むことであると、先に上げた「平和への道」の中で語っています(平和への道4章「愛の家に住む」から)。

この時に当たって、私たち自身が愛の家に住み、平和を造り出す神の子としての道を歩み出せますよう、共に祈り求めたいと思います。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)